

**子宮頸がんワクチンへの
公費助成について**



久松 猛 議員

質問 子宮頸がんについては、予防する画期的なワクチンが開発され、日本でも昨年末に承認・販売される中、公費での接種の期待が広がっている。現在は自費のため、親の経済力や地域の格差がそのまま反映する可能性があることから、本市でも公費助成を実施すべきと考えるが、見解を伺う。

保健福祉部長 子宮頸がんは、ワクチンの接種だけで予防できるものではなく、定期的な受診し、早期発見に努めることが重要である。現在本市の子宮頸がん検診については、集団検診と医療機関検診で実施しており、国保加入者は検診料が無料となっている。当面は検診の受診率の向上を最大の目標とし、予防接種については、国に対して支援要望を行い、動向を見ながら対応してまいりたい。

(掲載以外の質問事項)
1 協同病院用地選定の進捗状況について

2 総合的自転車政策の策定について
4 図書館のインターネットによる音楽配信について



土浦市は子育て日本一を目指せ



矢口 清 議員

質問 日本は今、共働き世帯が増加する中、少子化が進んでおり、子どもを産み育てている家庭への支援が実効を上げるかどうか、今後の日本社会の動向を左右するほど重要な意味を持っている。そのため、地域の子育てインフラ（基礎構造・基幹施設等）を整備し、子育て人生を選んでもよかったと言えるまちづくりが必要不可欠だと考えるが、本市の現状について伺う。

保健福祉部長 本市では、子ども同士のふれあいの場を増やし、育児不安の解消などに対応するため、地域子育て支援センター事業と、子育て交流サロン事業を実施している。子育て支援センターは、桜川保育所の「さくらんぼ」、土浦愛隣会保育所内の「ありんこクラブ」、白鳥保育所内の地域子育て支援センターの3カ所を設置しており、地域における子育ての拠点施設としての役割を果たしている。また、乳幼児とその保護者が交流できる子育て交流サロン「わらべ」が大変好評を得ていることから、本年度、東真鍋地内に新たな子育て交流サロンを整備する予定である。今後も子育てを社会全体で支援するため、地域の皆さまを始め、子育てサークルや関連団体等との連携を図り、子育て環境の向上に努めてまいりたい。

質問 本市の都市ガスについて、最初の布設の認可はいつ頃であったか、また市道の中に布設されている距離と、その占用料、許可期間の設定、またガス管の耐圧関係、耐用年数、耐震度等について伺う。

建設部長 市道へガス管を埋設するには、市条例等において道路の占用期間、占用場所、



土浦市子育て交流サロンわらべ(中高津1丁目地内)

ガスエネルギー行政について

埋設施設の構造、工事方法を審査し、占用料を賦課して許可しており、平成21年度の占用料は、2千549万5千400円となっている。埋設されたガス管の延長は、市内約424キロメートルで、その内約280キロメートルが市道に埋設されている。また、ガス管の埋設の深さは通常1.2メートルで、阪神・淡路大震災以降は、耐震性に優れたポリエチレン管を積極的に取り入れている。いずれも法令に基づき、ガス会社の責任において適正な安全管理に努めている。

(掲載以外の質問事項)
2 環境問題
3 不法投棄について



田中 洋介 議員

建設部長 市道へガス管を埋設するには、市条例等において道路の占用期間、占用場所、

Tsuchiura City Assembly
市議会の模様は、土浦ケーブルテレビで議会初日翌週の月曜日から、
午後 10 時～ 11 時まで
順次放送予定です